

2016年9月18日(日)

犬島「家プロジェクト」I邸  
オラファー・エリアソン氏の作品  
「Self-loop」を公開します。



犬島「家プロジェクト」I邸は、瀬戸内国際芸術祭2016秋会期に向けて、展示替えを行い、オラファー・エリアソン氏による「Self-loop」を2016年9月18日(日)より一般公開いたします。

「I邸」の空間に、向かい合う3つの鏡を配置した本作品は、2方向に開かれた窓からの風景を結びつけています。作品中央のある一点において、鑑賞者は無限のトンネルのただ中にいる自分を見つけます。タイムトンネルのような同心円の中に立つ鑑賞者は、無限の空間とつながるスポットにより、新しい感覚の旅に誘われます。

皆様には、この機会にぜひご取材賜りますようお願い申し上げます。

取材・掲載の際には、下記までご連絡ください。

ベネッセアートサイト直島 広報担当/川浦

〒761-3110 香川県香川郡直島町 850  
E-mail [press@fukutake-artmuseum.jp](mailto:press@fukutake-artmuseum.jp)

Tel 087-892-2550 Fax 087-892-4466  
<http://www.benesse-artsite.jp/>

Benesse  
Art Site  
Naoshima

## アーティストプロフィール

### オラファー・エリアソン

1967年デンマーク・コペンハーゲン生まれ。王立デンマーク芸術アカデミー修了。コペンハーゲンとベルリンを拠点に活動。1990年代後半から数々の個展やプロジェクトを開催。2016年の主な個展：『Olafur Eliasson: Nothingness is not nothing at all』（上海・龍美術館）、『Olafur Eliasson Versailles』（フランス・ベルサイユ宮殿）など。

## 犬島「家プロジェクト」とは

アーティストディレクターに長谷川祐子氏、建築家に妹島和世氏を迎え、2010年より展開しているプロジェクト。犬島の集落再生を目指してスタートしたもので、現在は「桃源郷」をテーマに、「F邸」「S邸」「A邸」「C邸」「I邸」の5つのギャラリーと集落内に作品を展示しています。これまで3年に1度開催される「瀬戸内国際芸術祭」に合わせてギャラリーの増設と展示替えを行ってきました。現在も段階的に展示替えを行いながら、一連の作品をとおして、人々の生活の中にある潜在的希望とは何かを問いかけています。

## 犬島「家プロジェクト」I邸

F邸と同様、古い家屋の木材や瓦を再利用した木造のギャラリー。庭には色とりどりの花畑が広がり四季折々の表情をみせます。

花の植え替えには犬島島民が庭で育てた植物を利用しています。

植栽協力：明るい部屋

構造：木造



写真提供：妹島和世建築設計事務所

※本プレスリリース内の写真・画像は広報用にご提供可能です。下記の広報担当までご連絡ください

取材・掲載の際には、下記までご連絡ください。

ベネッセアートサイト直島 広報担当/川浦

〒761-3110 香川県香川郡直島町 850 Tel 087-892-2550 Fax 087-892-4466  
E-mail [press@fukutake-artmuseum.jp](mailto:press@fukutake-artmuseum.jp) <http://www.benesse-artsite.jp/>

Benesse  
Art Site  
Naoshima

| 取材申し込み専用ページ | <http://benesse-artsite.jp/contact/press.html>